

# しおんだより VOL.28



## チーム医療で褥瘡治療に取り組んでいます

「褥瘡」という言葉を見て、「一体何のこと？」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。これは「じょくそう」と読み、いわゆる「床ずれ」のことです。

元気な時に起こりませんが、体調が悪くなったり、麻痺が起こったりして、ベッドに寝たきりになった時に、一か所に体重や圧力がかかりすぎると、その部分の皮膚の血流が悪くなり、表皮が破れて潰瘍（皮膚が掘れてしまう）ができてしまいます。

痛みが出るだけでなく、浸出液がでてきたり、感染を起こすと熱が出たり異臭を放ったりと、なかなかやっかいな疾患です。

褥瘡の治療には、適切な薬剤や処置を伴う創部に対する直接の処置だけではなく、創部に圧がかからないような工夫、さらには、栄養状態の改善や投薬内容の調整も重要になっています。当院では、医師・看護師だけでなく、薬剤師や管理栄養士も加わりチーム医療で取り組むとともに、天下茶屋のあみ皮膚科の山田先生のチームのご協力をいただきながら、褥瘡患者さんの病状に応じた治療を適切におこなうことで、より早く、より適切な治療が行えるような体制を作り上げています。

病院に所属する様々な専門職が、それぞれの専門性を活かして、患者さんの状態を改善していくのが、チーム医療。褥瘡に対しても、チーム一丸となり取り組んでいます。

## 研修に出席するため、5年ぶりに海外に行ってきました



霧のサンフランシスコの名に  
ふさわしいゴールデンゲート  
ブリッジが撮れました！

去る2月6日から8泊10日の日程で、アメリカに行ってきました。私の水曜日の外来も、2回お休みをいただき、ご迷惑をおかけしましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。

と言っても、観光や休暇に行ったわけではなく、経済産業省主催のプログラムで、アメリカは西海岸のシリコンバレーで、色々なところでセミナーを受けたり、見学をしたりして最終日には、自分の考えをまとめて発表してきました。12日の日曜日には、ゴールデンゲートブリッジを歩いて渡ってきました。全長は3kmほどの距離で45分ぐらい掛かりましたが、霧が深く全貌が見えませんでした。ただ、対岸は晴れていてとても気持ちの良い季候でした。

それにしても、アメリカではマスクを付けている人はほとんどいらっしゃらず、とても戸惑いましたが、日本も近いうちにあんな風になるのでしょうかね…。」

## 冬来たりなば、春遠からじ！一足早い桜も見られました。

現地の人のお話によると、カリフォルニアは福島県と同じ緯度だそうで、確かに朝と夜は冬らしい感じの気候でしたが、昼間はぐっと暖かいのが印象的でした。

いくつか訪問した箇所の1つの庭に、桜の花が6分咲きほどの感じで咲いていました。見上げながら思わず写真を撮りましたが、花は同じでも、その向こうに星条旗がたなびいていました。

日本もまだまだ寒い時期が続きますが、暦の上では春ということもあってか、日中は暖かさを感じることも増えてきました。今年のお花見は、少しみんなと一緒に楽しむことも出来るかもと期待し、少しわくわくしながら春の訪れを、待ちたいと思います。（文責：狭間研至）



見慣れた桜の向こうには  
星条旗がたなびいてました

しおんだより 第28号 発行日：令和5年2月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: [www.shion-hp.or.jp](http://www.shion-hp.or.jp)